

第四次湖南省行政改革大綱【概要版】（案）

◇◇湖南省行政改革これまでの取り組み◇◇

第一次行政改革大綱 平成18～22年度（2006～2010年度）

【基本理念】「市民満足度と行政経営品質の向上」

- ・市民の視点「市民の力を活かしたまちづくり」
- ・経営の視点「行政評価を活用した行政経営」
- ・人材の視点「職員が生き生きと輝く湖南省」

第二次行政改革大綱 平成23～27年度（2011～2015年度）

【基本理念】「協働による住民自治と持続可能な行政運営」

- ・情報共有による共通認識と改革意識の醸成
- ・量的削減と質的向上を目指した事務事業の総点検
- ・役割分担による市民と行政の協働推進

推進の結果

- ・経費の削減、抑制の実施・指定管理者制度の導入・公共施設使用料の改定などを実施

継続した行政改革が必要

第三次行政改革大綱 平成28～令和2年度（2016～2020年度）

【基本理念】「ひとの創生、地域の創生」を推進する湖南省の実現

第1の視点「協働・連携の視点」

第2の視点「市民主体の視点」

第3の視点「行政改革の視点」

- ・第1の柱「税の更なる有効活用」
- ・第2の柱「自主財源の確保と公平な受益者負担」
- ・第3の柱「市民主体の仕組みづくり」

◆市が直面する課題◆

人口減少・少子高齢化の進行
公共施設等の大量更新の到来

◇これからの課題◇

デジタル時代への対応
新しい生活様式への対応

更なる行政改革が必要

第四次行政改革大綱

計画期間 令和3～7年度（2021～2025年度）

【大綱の基本理念】

『「地域力・デジタル化・経営力の向上を目指して」～新しい時代に即した行財政改革の推進～』

【大綱の目標】

大綱の基本理念に基づき、社会情勢の流れに沿って必要な時に再構築を図りつつ、次世代に過度の負担を残さないまちを実現するため、3つの取り組むべき政策についてそれぞれの施策を定め、確実に取組項目を達成することを目標とします。

取り組むべき3つの政策

第1の政策

市民主体の透明性のあるまちづくり
～市民参画と情報共有～

1) 様々なコミュニティとの連携

2) 市政情報の積極的な共有

第2の政策

デジタル社会の推進
～スマート自治体への転換～

1) 情報通信技術（ICT）の積極的な活用

2) 社会生活へのデジタル化の推進

第3の政策

効率的・効果的な行財政運営
～従来の改革の継続と新たな改革～

1) 事務の効率化の推進

2) 公共施設等総合管理計画の着実な実行

3) 受益者負担および補助金・負担金の適正化

4) 広域連携の推進

5) 財政の健全化